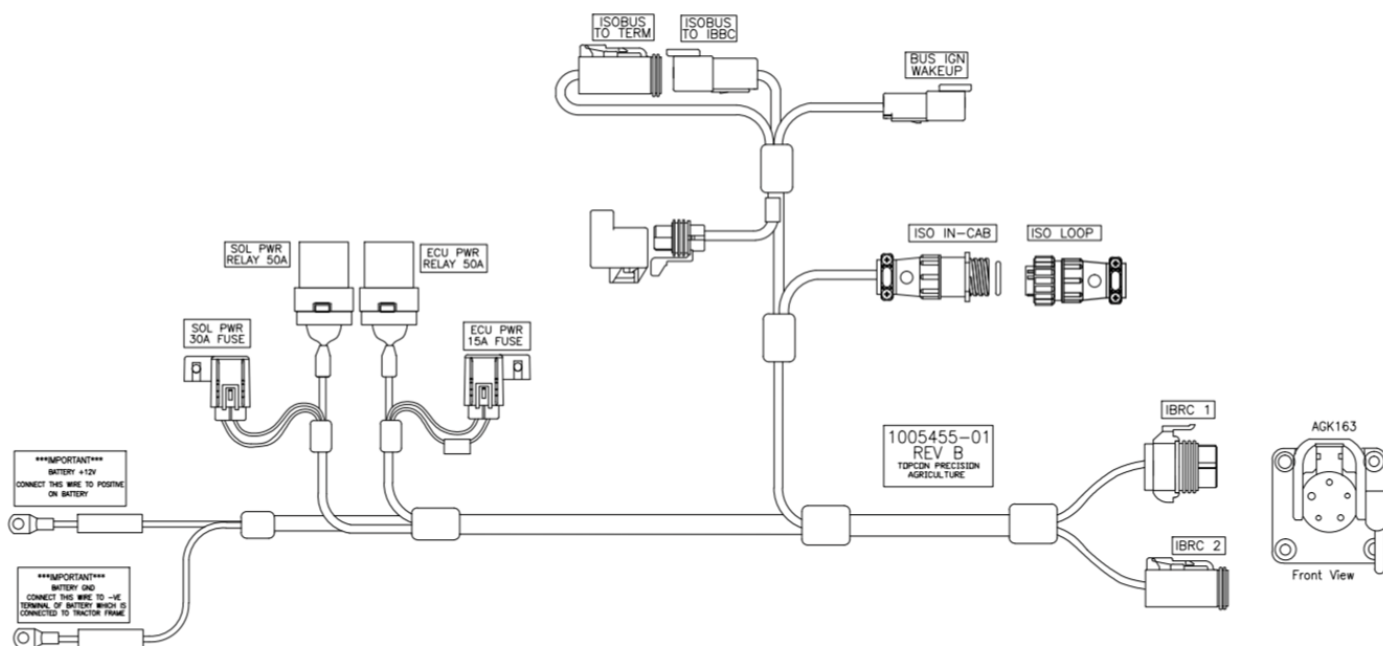









トプコン ISOBUS システム
取付設定マニュアル
(HORIZON5)
第一版

① ISOBUSハーネス(1011450-01)接続手順

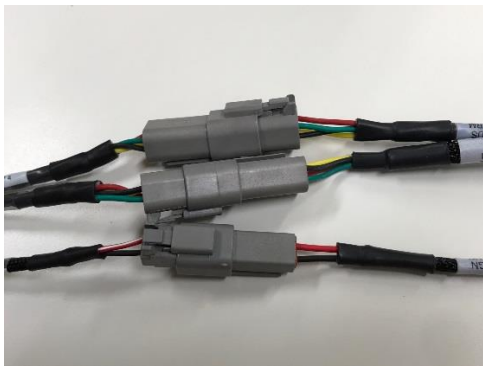
1011450-01 HRNS, GEN2LITE FULL ISOBUS ADAPTOR SUIT ROW CROP



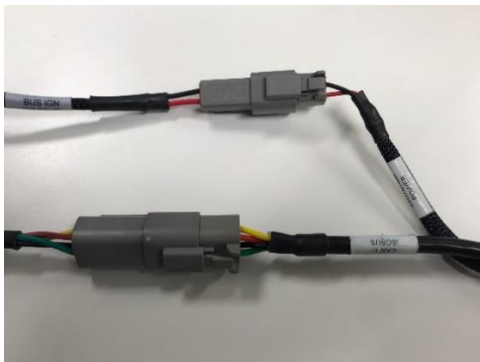
手順	イメージ	内容
1.		<p>ISOBUS ハーネス (1011450-01) は左図のような状態で納品されます</p>
2.		<p>「ISOBUS TO TERM」や「ISOBUS TO IBBC」などのコネクタがお互いに結線されている場合はコネクタを外します。</p>

3.		<p>ISO11783 コネクタの背面に「IRBC1」、「IRBC2」というラベルのあるコネクタを接続します。</p>
4.		<p>ISO11783 コネクタをトラクタのリアへ取り付けます。</p>
5.		<p>ISOBUS ハーネスにある土の丸端子をトラクタの12V バッテリーへ接続します。</p>
6.		<p>2つある電源リレーボックスを安全な場所に固定します。</p>
7.		<p>メインハーネスの「ISOBUS LOOP A」、「ISOBUS LOOP B」、「SWITCHED POWER」とのラベルがあるコネクタの先についている終端抵抗類を取り外します。 *取り外した終端抵抗は保管をお願い致します。</p>

8. 新メインハーネスの結線 (GEN3)



旧メインハーネスの結線 (GEN2)



ISOBUS ハーネスにある「ISOBUS TO IBBC」、「ISOBUS TO TERM」、「BUS IGN WAKEUP」のラベルが付いているコネクタと新メインハーネスの「ISOBUS LOOP A」、「ISOBUS LOOP B」、「SWITCHED POWER」を接続します。

結線

ISOBUS ハーネス 新メインハーネス (GEN3)

「ISOBUS TO TERM」⇔「ISOBUS LOOP A」

「ISOBUS TO IBBC」⇔「ISOBUS LOOP B」

「BUS IGN WAKEUP」⇔「SWITCHED POWER」

ISOBUS ハーネスにある「ISOBUS TO TERM」、「BUS IGN WAKEUP」のラベルが付いているコネクタと旧メインハーネスの「CAN1/ISOBUS」、「SWITCHED POWER」を接続します。

結線

ISOBUS ハーネス 旧メインハーネス (GEN2)

「ISOBUS TO TERM」 ⇔ 「CAN1/ISOBUS」

「ISOBUS TO IBBC」 ⇔ 接続しない

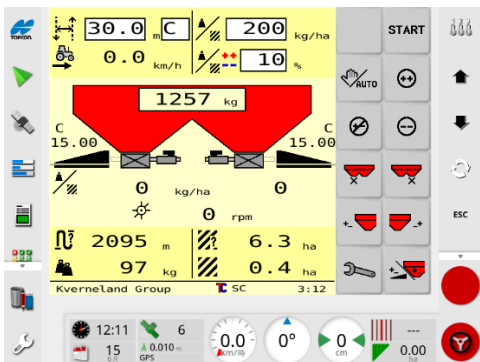
「BUS IGN WAKEUP」 ⇔ 「SWITCHED POWER」

9.



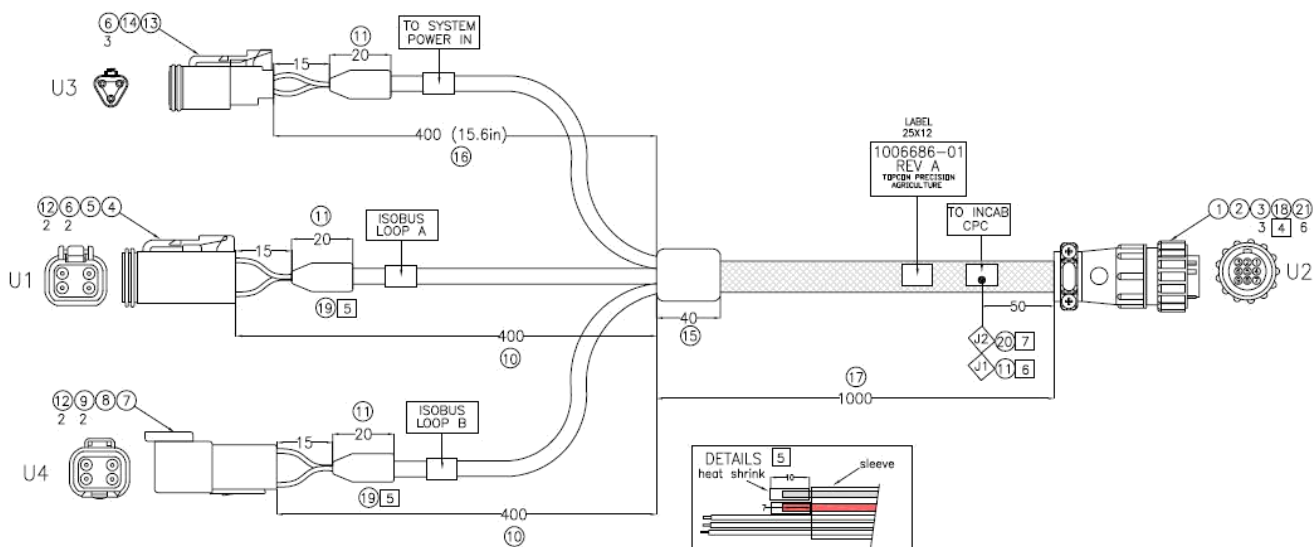
ISOBUS 作業機を接続して画面上に作業機の画面が表示されれば完了です。

表示しない場合は 8 ページの設定を確認してください。



② ISOBUS In-cab ハーネス (106686-01) 接続手順

1006686-01 HRNS, ISOBUS ADAPTOR CPC DT CAN ONLY



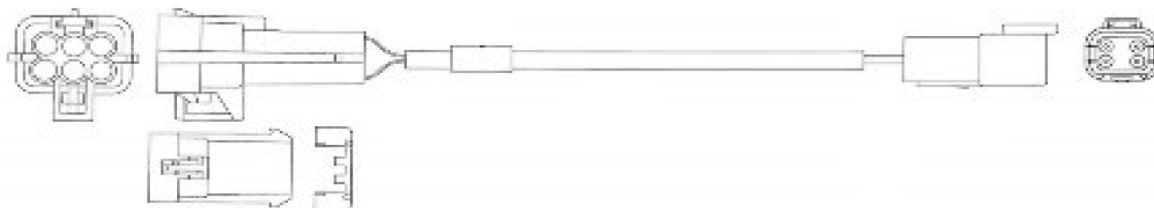
2-1 新メインハーネスと接続する場合

手順	イメージ	内容
1.		<p>メインハーネスの「ISOBUS LOOP A」、「ISOBUS LOOP B」、「SWITCHED POWER」とのラベルがあるコネクタの先についている終端抵抗類を取り外します。</p> <p>*取り外した終端抵抗は保管をお願い致します。</p>
2.		<p>ISOBUS In-cab ハーネスにある「ISOBUS LOOP A」、「ISOBUS LOOP B」のラベルが付いているコネクタとメインハーネスの「ISOBUS LOOP A」、「ISOBUS LOOP B」を接続します。</p> <p>結線</p> <p>ISOBUS In-cab ハーネス 新メインハーネス (GEN3)</p> <p><u>「ISOBUS LOOP A」 ⇔ 「ISOBUS LOOP A」</u></p> <p><u>「ISOBUS LOOP B」 ⇔ 「ISOBUS LOOP B」</u></p> <p><u>「TO SYSTEM POWER IN」⇔ 接続しない</u></p>
3.		<p>「TO INCAB CPC」コネクタをトラクタなどの In-cab コネクタに差し込みます</p>

2-2 ISOBUS In-cab ハーネス (106686-01) と旧メインハーネス (GEN2) を接続する場合

ISOBUS In-cab ハーネスと旧メインハーネス (GEN2) を接続する場合は別途下記のハーネスが必要です。

AGA5377 HRNS ISOBUS ADAPTOR SUIT AGA5072 / OR AGA4700



手順	イメージ	内容
1.		<p>メインハーネスのアンテナ側付け根にある「CAN1 ISOBUS」に接続している終端抵抗を外します。</p>
2.		<p>AGA5377 ハーネスは終端抵抗を外したコネクタに接続し相手側を「ISOBUS LOOP A」に接続します。</p>

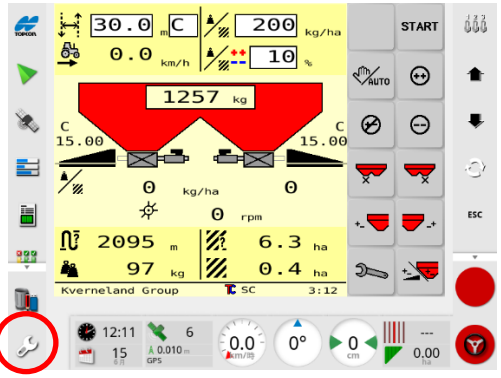
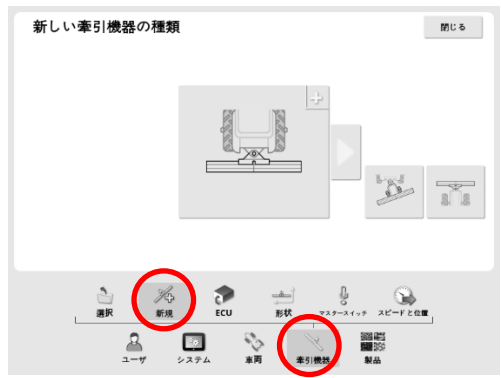


<p>3.</p>		<p>ISOBUS In-cab ハーネスの場合は下記の通り接続します。 結線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ISOBUS In-cab ハーネス</th> <th>旧メインハーネス (GEN2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「ISOBUS LOOP A」</td> <td>⇔ AGA5377 コネクタ</td> </tr> <tr> <td>「ISOBUS LOOP B」</td> <td>⇔ 「CAN1/ISOBUS」</td> </tr> <tr> <td>「TO SYSTEM POWER IN」</td> <td>⇔ <u>接続しない</u></td> </tr> </tbody> </table>	ISOBUS In-cab ハーネス	旧メインハーネス (GEN2)	「ISOBUS LOOP A」	⇔ AGA5377 コネクタ	「ISOBUS LOOP B」	⇔ 「CAN1/ISOBUS」	「TO SYSTEM POWER IN」	⇔ <u>接続しない</u>
ISOBUS In-cab ハーネス	旧メインハーネス (GEN2)									
「ISOBUS LOOP A」	⇔ AGA5377 コネクタ									
「ISOBUS LOOP B」	⇔ 「CAN1/ISOBUS」									
「TO SYSTEM POWER IN」	⇔ <u>接続しない</u>									
<p>4.</p>		<p>ISOBUS 作業機またはトラクタなどの In-cab コネクタに接続して画面上に作業機の画面が表示されれば完了です。 表示しない場合は 8 ページの設定を確認してください。</p>								







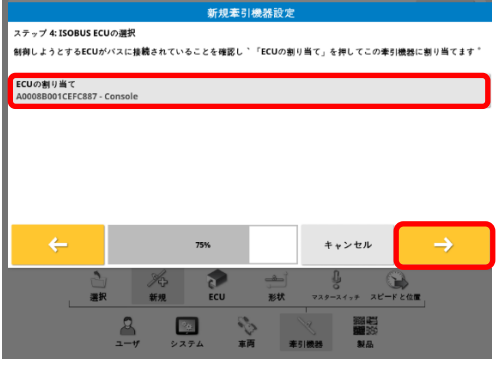

③ Xコンソール ISOBUS 通信設定

3-1 汎用端末(以下 UT)番号の設定

手順	イメージ	内容
1.		<p>ガイダンス画面の「スパナマーク」を押し、設定画面に切り替えます。</p>
2.		<p>「システム」→「ISOBUS」→「UT」を押し UT 番号を「1」に設定し、汎用端末が「オンライン」であることを確認してください。 確認後「閉じる」を押し、ガイダンス画面に切り替えます。</p> <p>※エラーメッセージが出て汎用端末が「オフライン」から変わらない場合は、UT 番号を別の番号に切り替えてください。</p>
3.		<p>しばらくすると UT 画面が自動的に読み込まれます。</p>

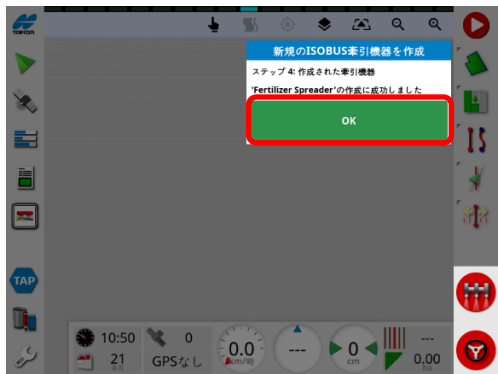
3-2 作業機ファイルの作成

手順	イメージ	内容
1.		<p>ガイダンス画面の「スパナマーク」を押し、設定画面に切り替えます。</p>
2.		<p>「牽引機器」→「新規」から作業機のアイコンを押して新規作業機ファイルを作成します。</p>
3.		<p>再起動のアラートが表示されます。 <input type="button" value="OK"/> を押して次に進んでください。</p>
4.		<p>作業機ファイルの名称を入力します。初期設定のままであれば <input type="button" value="OK"/> を押して次に進んでください。</p>

5.		<p>制御用 ECU の種類を選択します。 ISOBUS 制御の場合は「ISOBUS」を選択してください。 選択後、  を押します。</p>
6.		<p>牽引機器の制御を選択します。 選択後、  を押します。</p> <p>制御なし…UT での手動操作のみ セクション制御のみ…コンソールから自動セクション制御のみ可能。 セクション制御とレート制御…コンソールから自動セクション制御及びレート制御が可能。 レート制御のみ…コンソールからレート制御のみ可能。</p>
7.		<p>牽引機器の種類を選択します。 最適な作業機に選択後、  を押します。</p>
8.		<p>ISOBUS ECU の選択を行います。 作業機の ECU が認識していない場合は「任意の ECU」を選択し、  を押します。</p>

9.		<p>OK を押すと、自動的に再起動します。</p>
10.		<p>再起動後、作業機の ECU を検出します。 表示された検出メッセージの「はい」を押してください。</p>
11.		<p>牽引機器の種類を選択します。 装着した作業機に適合する作業機イメージを選択し、 → を押します。</p>
12.		<p>作業機ファイルの名前を設定します。 よければ → を押します。</p>

13.



作業機ファイルの作成が終了します。

OK

を押してください。

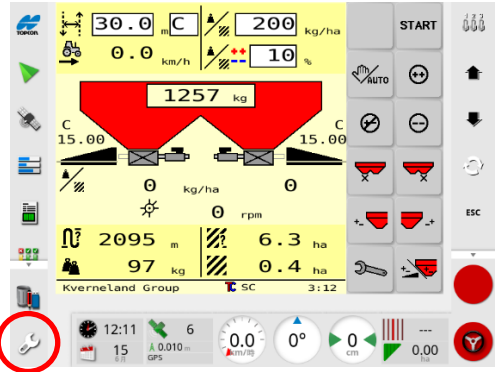

14.



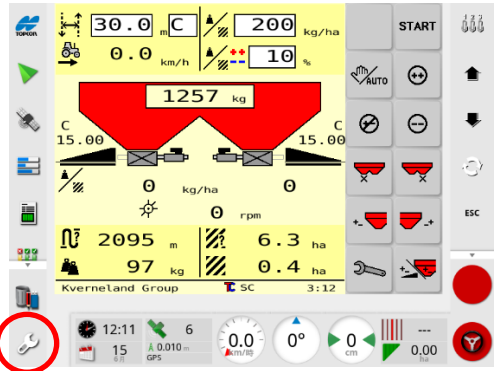

OK

を押すと、作業機ファイルの読み込みを行い、画面が再起動します。以上で作業機ファイルの作成は終了です。

3-3 タスクコントロール機能の有効

手順	イメージ	内容
1.		<p>ガイダンス画面の「スパナマーク」を押し、設定画面に切り替えます。</p>
2.		<p>「システム」→「機能」→「牽引機器」から牽引機器機能画面を表示し、下記の機能を使用する場合はそれぞれの項目を有効にしてください。</p> <p>セクション制御→「自動セクション制御」を有効にする</p> <p>マップベース可変施肥→「変動レート制御」を有効にする。</p> <p>※X25 コンソールの場合、変動レート制御を有効にするにはアドバンスライセンスの購入が必要です。</p> <p>リアルタイム可変施肥→「変動レート制御」を有効にし、「窒素感知」をCropSpecに変更する。</p> <p>※リアルタイム可変施肥に関しては別紙手順書を参照ください。</p>

3-4 TC(タスクコントロール)番号の設定

1.		<p>ガイダンス画面の「スパナマーク」を押し、設定画面に切り替えます。</p>
2.		<p>「システム」→「ISOBUS」→「TC」からタスクコントローラの設定画面を表示し、TC番号が作業機と同一の数字であることを確認してください。</p> <p>TC番号がマッチしていないとセクション制御、レート制御ができなくなります。</p> <p>また、メーカーによりTC番号のずれがある場合があります。詳細は作業機メーカーへお問い合わせください。</p>

改訂履歷
2021/06/21: 初版

以上